

アメリカ・ミシガン州駐在員便り

2006/10/23 駐在員：山川 祐司

日本語を学習するミシガン州の中学生

先日、甲賀市の姉妹都市でもあるミシガン州デウィット市にあるデウィット中学校を訪問し、そこで日本語を教えておられる先生とお話しさせていただきました。同校ではフランス語やスペイン語とともに日本語が選択科目に設定されています。現在昼間23人、夜間13人の生徒（一般市民を含む）が学んでいます。こちらでは甲賀市の中学校との相互訪問プログラムを持っておられ、参加する生徒は、必修科目としてこのクラスを取っているとのことでした。

ちなみに、生徒の間では「忍者」や「manga（漫画）」への興味・関心はかなり高いとのことでした。

また、先週出席した州政府の集まりで日本語で話しかけて来た方がいたので「日本語を勉強しているのですか」と尋ねたところ、子供が家で見ている日本のアニメの影響、とのことでした。「私は簡単なあいさつぐらいですが、子どもはかなり日本語を理解していますよ」とも話されました。

学校の廊下で「ハジメマシテ」とあいさつしてくれる生徒を見ていると、確かにアニメ、漫画というのは一つのきっかけかもしれませんが、やはり姉妹都市・姉妹県州関係を通じた長年の人的交流の積み重ねを思わずにはいられません。



図書館に展示された数々の品が、交流の歴史を物語っています。



教室に貼られた日本地図や滋賀県地図。「滋賀県は日本のどのあたりにあるのか」から教えるとのことでした。